

平成28年3月末現在、同窓生総数15,679名(第41回卒業生まで)



大応援団旗を贈呈しました

縦2m×横3mの大応援団旗を贈呈しました。年々、さまざまな部活動が活発になり、好成績を収めるようになりました。全国各地で、この応援団旗がはためてくれることを期待しています。(左端生徒が持っているものが今回の応援団旗です。)

学校ホームページがリニューアルしました!

平成28年3月に同窓会で新たにホームページを作成し学園に寄付させていただきました。シンプルで分かりやすいものを、そして何より旬な情報をできるだけ素早く発信できることをコンセプトに作成しました。学校行事や部活動の活動状況(公式戦、練習試合の結果等も含む)がスピーディーに公開され日々の学校の様子を楽しく閲覧することができるようになりました。是非一度ご覧下さい。ホームページアドレスはこちらです。 <http://www.minokamo.ed.jp>

本校は本年度、開校四十四年目に突入しました。平成二十七年度の卒業生二四五名を加えますと、同窓生は一五、六七九名となりました。そして、在校生は高校部九〇七名、中学部一五七名、合わせて一、〇六四名で、県下五番目の規模の私立中等高等学校となっております。

前号でもお知らせしましたが、新校舎が完成して新しい教育環境にも慣れ、生徒たちの活躍ぶりには一層目を見張るものがあります。



校長 赤崎 耕二

教える子たちのリレー

同窓会会員の皆さん、こんにちは。会報発行も五号目になりました。日頃は、早川会長さんをはじめ会員の皆様には、いろいろな角度から学校を応援していただき、誠にありがとうございます。

学校全体が活気に満ち、かつ、落ち着いた雰囲気の中で諸活動に取り組んでいます。後のページをご覧ください。さまざまな分野で大きな成果を出せるようになりました。しかし、それは一朝一夕にできたものではありません。これまで、卒業生をはじめとする先輩諸氏が築いてくださった土台の上に、積み重ねた努力の結果であることは、言うまでもありません。

私は、日頃から生徒たちに、継続することの大切さを訴えています。何事も諦めずに根気よく続けていくと、最初は目に見えないほど小さな成果でも、いつかは大きな結果を生むことになるのです。それは、スポーツでも学問でも、また芸術や芸能の世界でも同じです。世に、優れた才能をもつ人がいて、時に天才と言われる人たちがいて、人知れず積み上げた努力の結果、そう呼ばれるようになったのはたまたまです。継続すること、前進する方法はないのです。ですから、本年度も引き続き「継続と前進」をスローガンに掲げ、邁進する年度にしたいと思っています。



母校と共に 同窓会長 早川 港

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年、同窓会におきまして、母校支援事業の一環として「美濃加茂中等高等学校のホームページ」の作成に協力させていただきました。母校の創立以来の沿革や建学の精神、教育の特色、年間行事、進路状況、部活動の戦績、広報イベント、生徒達の現況など、多くの情報が満載と生じています。このホームページを通じて在学している中学・高校1,000余名の生徒が活躍する姿をタイムリーに伝えさせていただくことにより、更に会員の皆様にも母校への強い関心を持っていただき、時には誇らしい気持ちになっていただければ幸いです。

こうした母校の情報を知ること、大きな結束力が生まれ、母校応援の原動力となることと確信しております。尚このホームページは、PCのみならず、スマホ・携帯・iPadなどのタブレットでも閲覧できますし、メールによる会員の皆様からのご意見などもいただきたいと考えています。

進学ピックアップ

合格者 旧帝国大学全制覇! 国公立大学51名全員現役合格!

平成27年度の九州大学の合格で旧帝国大学(北から北海道、東北、東京、名古屋、大阪、京都、九州の7大学)に合格者を全校出すことができました。また平成27年度の国公立大学の合格者が51名でしたが、51名全員が現役生であるという誇らしい結果でした。

合格者の詳細は6ページに記載させていただきましたのでご覧下さい。

■ 恩師からのメッセージ

美濃加茂での教員生活

服部 吉久(副校長)



小学校六年生の時から教員になることを夢見ていた私は、人との出会いに恵まれ、大学卒業後美濃加茂高校の教壇に立つことができました。自分が卒業した高校のイメージとは違い、戸惑ったり悩んだりした教員一年目でした。

赴任して三年目から普通コース、両立コース、そして蛭雪コースのクラス担任もしました。両立コース・蛭雪コースの担任の時、現在の硬式野球部の高橋監督を受け持ちました。

部活動顧問は、高校時代まで卓球をしていたので卓球部を担当しました。その時代に先輩教師から勧められ、大型自動車免許を取りました。免許を持つているということで、野球部の遠征時のバスの運転手としてたびたび駆り出され、それが縁なのか、二年半硬式野球部の部長を務めることになりました。部員と一緒に寮(現在のセミナー

恩師からのメッセージにあてて

高橋 陽一(同窓生教員)
(平成15年卒)



同窓生の皆さんにも心から「恩師」と呼べる先生がきつ々しいと思います。私にとつての恩師はやはり

服部吉久先生です。私は平成十二年に美濃加茂高校両立コースに入学しました。どのような高

ハウス)で寝泊まりし、甲子園を夢見ました。

校務分掌は、校務(清掃)、生徒会が中心で募集も携わり、学年主任に教務部長、教頭、そして現在の副校長と続いています。人間的に優しいのか、生徒指導部には縁がなかったようでした。

ただ、一貫して言えることは仕事が好きだったということです。趣味は仕事ですね、と言われたこともありました。与えられた仕事、やるべき仕事を単にこなすのではなく、自分なりに工夫すること、新しいものを取り入れること、仕事に自分の足跡を残すことに楽しさを感じていました。NHKの「千人の力」は大きなイベントでしたが、本当に辛さを感じることもなく楽しくやらせてもらった仕事の一つです。いまだに学校のいろんな行事や取り組みに自分の提案したことが残っているのを見ると嬉しくなります。でも、それには上司や多くの先生方の理解、協力、そして、卒業生の皆さんの支えがあったからできたと感謝しています。

今の楽しみは、授業をすることです。少ない時間数ですが社会の授業をしています。いろいろ教材研究をしているとまた新たな発見があります。それを

校生活が待っているのか。期待と不安を胸に入學式へ。そして担任発表。呼ばれたのは服部先生でした。部活動(野球)と学習を両立する生活リズムをなかなか掴みきれずにいた私に、服部先生はいつも的確なアドバイスをしてくれました。服部先生のおかげで徐々に自信を付けた私は、より高いレベルでの文武両道を志し、二年次から蛭雪コースへコース変更しました。当初の担任はご病気になられ、新たな担任としてこられたのが、やはり服部先生でした。一年次以上に野球と学習の両立に悪戦苦闘していた私に、服部先生はいつも

生徒たちに教え、生徒たちがなるほどとわかってくれた時は教員でよかったと思います。そして、自分が教員になりたいと思った原点に立ち返ります。決して副校長職が嫌だというわけではありません。

卒業生のみならず、それぞれいろいろな仕事についていると思います。どうしてその職に就きたいと思ったのか、原点に戻れば仕事に向かう姿勢もおのずと前向きになると思います。これからのご活躍とご多幸を祈っています。

生徒募集から始まり学校生活(寮生活含む)昭和時代までは学校に寮がありました。部活動、卒業後の進路相談など、特に野球部に所属していた皆さんにとってはたくさん思い出があるのではないのでしょうか。昭和55年夏、平成2年夏の2度の甲子園出場は、選手の方皆さん、部長、監督、コーチの努力はさることながら、長田先生の陰の尽力がなければ実現していなかったでしょう。

退職後はお孫さんの成長を楽しみに日々のんびり過ごされているとのこと。ご自分の時間もほとんどなく、学校一筋で40数年間お勤めになりました。これからはゆつくりとお過ごし下さい。またこれからも美濃加茂高等学校・美濃加茂中学校の発展を温かく見守って下さい。そして最後にお約束します。3回目の甲子園出場の際には特等席を準備してお迎えします。

短い文章ではありますが、職員並びに同窓生を代表して深くお礼を申し上げます。大変お疲れ様でした。そしてありがとうございます。(職員・平成5年卒 R・K)



■ 退職職員紹介

開校の昭和49年の開校当時から長きに渡りお勤めになった長田聖前事務局長が平成28年3月末に退職されました。

長田先生(あえて多くの卒業生の方が親しみを込めて使われる「呼び名」を使わせて頂きます)は開校から10周年、20周年、30周年、40周年と学校発展に尽力され、今日的美濃加茂高等学校の礎を築かれました。

生徒募集から始まり学校生活(寮生活含む)昭和時代までは学校に寮がありました。部活動、卒業後の進路相談など、特に野球部に所属していた皆さんにとってはたくさん思い出があるのではないのでしょうか。昭和55年夏、平成2年夏の2度の甲子園出場は、選手の方皆さん、部長、監督、コーチの努力はさることながら、長田先生の陰の尽力がなければ実現していなかったでしょう。

退職後はお孫さんの成長を楽しみに日々のんびり過ごされているとのこと。ご自分の時間もほとんどなく、学校一筋で40数年間お勤めになりました。これからはゆつくりとお過ごし下さい。またこれからも美濃加茂高等学校・美濃加茂中学校の発展を温かく見守って下さい。そして最後にお約束します。3回目の甲子園出場の際には特等席を準備してお迎えします。

短い文章ではありますが、職員並びに同窓生を代表して深くお礼を申し上げます。大変お疲れ様でした。そしてありがとうございます。(職員・平成5年卒 R・K)

平成27年3月退職者

大野 久
松野 三千夫
大塚 里美
横井 佳子
後藤 里英
梅村 あや
山上 正樹
内藤 陽
明瀬 地
荒山 友里
中島 順子

平成28年3月退職者

長田 聖
清水 裕
河田 久里子
稲垣 毅
額 隆雄
龍田 夏澄
田中 志帆
尾崎 紘子
古川 愛子





野球部 「古豪復活」へ向けての第1歩!! 平成28年度春季東海大会出場(24年ぶり)

伝統の縦縞のユニフォームが東海大会に帰ってきた。同窓生教員である高橋陽一監督がチームを率いること3年。昨年の秋はベスト8で市立岐阜商業に5対7で敗れて涙を吞んだ。その悔しさを胸にこの冬は徹底的に守備力を鍛え上げた。そして迎えた春。中濃飛騨地区大会では4季連続の優勝を果たし、県大会でも順当にベスト8へ進出。そして対するは秋に苦汁を嘗めた市立岐阜商業。0対1で1点を追う苦しい展開の中、8回裏1死からの内野安打を皮切りに、1死満塁のチャンスを作る。そこで意表を突くスクイズが決まり同点。勢いに乗ったチームは、さらに2本のタイムリーヒットで4対1の逆転劇を演じた。9年ぶりのベスト4進出であった。続く準決勝の大垣日大戦でも堅実な守備からリズムを作り、4対2で勝利を収め、24年ぶりの東海大会進出を決めた。高橋監督は「この結果には満足していないが、26年ぶりの甲子園出場への足がかりにはなったと思う」と語る。

野球部ニュース①

第88回選抜高校野球大会21世紀枠岐阜県推薦校に選出

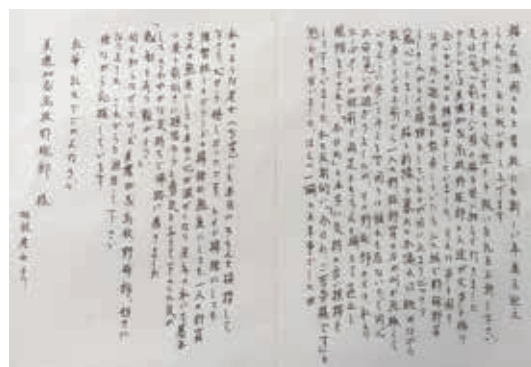
昨年の秋は上記のようにベスト8で幕を閉じた野球部。センバツへの道が閉ざされたと肩を落としていたチームに嬉しい知らせが舞い込んだ。21世紀枠岐阜県推薦校に選出されたとの知らせだ。最終的にセンバツへの出場はならなかったが、野球を通した人間作りを徹底している点や、校内・校外での挨拶や清掃活動などを行っている点などが評価され、部員たちはこれまでやってきたことの正しさに更に自信を深めた様子だった。



野球部ニュース②

地域の方からの嬉しいお手紙

今年の4月、春季県大会が始まる直前に、地域の方から右のようなすばらしいお手紙が届いた。野球部員の前平公園でのトイレ清掃や挨拶をする姿に感銘を受けたとの内容だ。このような活動を通して人間力を磨いてきた野球部だからこそ、24年ぶりの東海大会出場という結果を手にする事ができたのだろう。



野球部ニュース③

同窓生監督・コーチ

現在監督4年目の高橋陽一先生。そしてコーチ3年目になる天池壮佑先生。この2人は共に美濃加茂高校野球部のOBでもある。母校愛を胸に、自分たちが現役時代に果たすことのできなかった甲子園出場という夢を、生徒たちと共に全力で追い掛ける熱血指導者たちである。



監督
高橋 陽一

平成15年美濃加茂高校氷雪コース卒業。高校時代は投手・外野手として活躍。2年次には準優勝、3年次にはベスト4と甲子園まであと1歩のところまで涙を吞んだ。卒業後は早稲田大学に進学。平成20年から本校職員（国語科教員）として勤める。初めの5年間は中学部の野球部監督を務め、平成25年より高校部野球部監督に就任。チームを26年ぶりの甲子園に導くべく、熱血指導が日々繰り返される。好きな言葉は「球道即入道」。

平成23年美濃加茂高校アドバンスコース卒業。高校時代は投手として、チームの副キャプテンとして活躍。卒業後は愛知学院大学に進学。2年次には神宮大会準優勝を果たした。平成26年から本校職員（体育科教員）として勤める。1年目から高校部野球部顧問となり、ピッチングコーチを務める。独自のピッチング理論で好投手を育成する。好きな言葉は「臥薪嘗胆」。



コーチ
天 池 壮 佑



柔道部 部訓「信念」で勝ち取った全国大会！

若々しく情熱的な指導が持ち味の後藤哲史先生率いる、創部5年目の柔道部の勢いが止まらない。2年生の渡辺世奈さんが県で優勝し、今年の3月に行われた第38回全国高等学校柔道選手権に出場。聖地・日本武道館で行われた同大会で2勝し、全国ベスト16という輝かしい結果を残した。そして迎えた岐阜県高校総体でも渡辺さんは女子57kg級で全試合オール一本で優勝し、全国大会へ出場。「全国の舞台は何とも言えない緊張感があった。しかし、勝つ喜びはひとしおで、さらに上を目指したくなった」と後藤監督は語る。また中学1年生の岸夏希さんも、夏に開催された全国中学校柔道大会に出場。高校、中学校そろっての全国大会出場を果たす。岸さんは秋の県大会でも44kg級で優勝し、今後の期待が大きくなるばかり。着実に成長を続ける柔道部が次に目指すのは団体戦での全国大会出場。現在部員は男子3人、女子3人の計6人。「柔道の強い弱いではなく、柔道が好きかどうか」と後藤監督。部員の増員も目指しつつ、日々厳しく楽しい柔道を教えている。

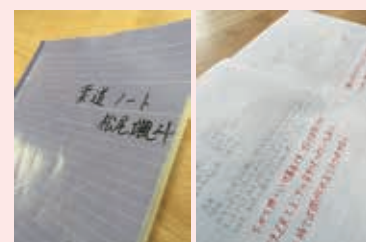
そんな柔道部の部訓は「信念」だ。柔道部が貫く信念の中でも大きな柱として「勝利至上主義からの脱却」が挙げられる。確かに最終目標は全国チャンピオン。しかし、そこだけに囚われてしまうと勝利至上主義のチームになってしまう。厳しい指導、厳しい稽古をすれば、強くなると思うが、それが本当の強さなのだろうか。まず柔道を好きだと言えること。厳しい練習も笑顔でできるチームを目指すのが美濃加茂柔道部だ。



ピックアップ!!

こだわりの「柔道ノート」

美濃加茂高校柔道部員は一人一冊「柔道ノート」を持っている。「柔道の目標」と「生活目標」が記されたそのノートを用いながら、部員たちは日々その達成に向けて努力している。そしてそれを見ている後藤監督も、毎日一人一人にコメントを送っている。部員と監督の心をつなぐツールとしても役立っているノートだ。

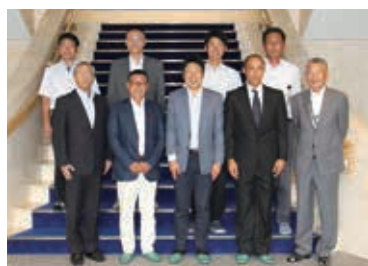




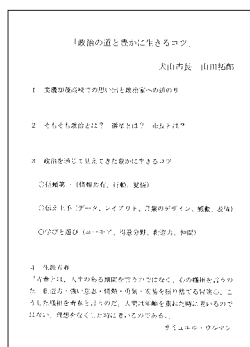
がんばってます！卒業生

平成28年7月13日(水)、「卒業生からのメッセージ」として本校卒業生である山田拓郎犬山市長(平成3年卒業(第16回生))による講演が開催されました。講演には早川港同窓会長、山田拓郎市長の高校在学時からの親友である矢幡真也さん(旧姓寺沢)(平成3年卒 現愛知県豊田高等学校硬式野球部監督 平成2年夏の甲子園出場時のピッチャー背番号1番)もかけつけて頂き、講演後の座談会には白村信幸中学部部長(昭和59年卒業(第9回生))、井戸純一学年主任(平成6年卒業(第19回生))、加納良祐事務主任(平成5年卒業(第18回生))、高橋陽一硬式野球部監督(平成15年卒業(第28回生))も加わり野球談義に花が咲きました。

①「種まき」
：高校時代の加藤繁行先生が授業中に話される歴史の背景にある政治、人間のドラマに影響を受け、政治に興味を持つ。



高校時代の思い出として、英語の赤崎耕二先生(現高等学校長)の板書の仕方や、理科の相和多田徹先生の口癖、国語の河田久里子先生の凛とした姿勢のこと、また当時の生徒が呼んでいた先生のあだ名などが紹介され、聴いている生徒達も楽しそうでした。中でも社会科の加藤繁行先生との出会いが政治の道に進む大きなきっかけになったエピソードは大変印象的でした。



当日参加者に配布されたレジュメ

平成28年7月10日(日)に行われた参議院議員選挙から選挙権が18歳に引き下げられたこともあり、選挙権、被選挙権など難しい話で始まるかと会場は少々緊張した雰囲気がありました。しかし、「政治の道と豊かに生きるコソ」(当日参加者に配布したレジュメ掲載)と題して、ユーモアたっぷりの講演でした。



経歴(ご本人Facebookを要約)

山田 拓郎

美濃加茂高等学校、名古屋経済大学経済学部卒業。民間企業での勤務、県議秘書等を経て、平成11年4月に犬山市議会議員に初当選。

犬山市議会議員を四期勤め、この間市議会議員、副議長、監査委員などの要職を歴任し、平成26年11月に犬山市長に初当選。

市学園評議員、名古屋経済大学同窓会長、尾張富士石上げ祭伝承保存会顧問、犬山商工会議所青年部会員なども務め、幅広い分野で鋭意活動中。

- ②「芽が出る」
：社会人になってから好奇心から選挙の手伝いをする。その後政治家秘書になり、犬山市議になることを志す。
- ③「幹が育ち、枝が伸びる」
：26歳の時に犬山市議に初当選する。
- ④「蕾ができて花が咲く」
：平成26年犬山市長となる。
- ⑤「果実が実る」
：市長となり地域、市民にたくさんのご恩恵還元できるよう日々考え行動する。

市長自身について話されたあとに、自身の経験を踏まえ生徒へのメッセージ、エールとして、きっちと説明し情報を共有し、適切な時期に的確にかつ責任、覚悟を持って行動することが周りに信頼を得る第一歩であること。次に説明には具体性が必要不可欠で、表現、表情にも気を付けながら自分の感じたことを素直に言葉に載せることで相手により自分の伝えたいことが伝わるということを強くお伝えいただきました。ただそれだけでなく、遊びの中から物事に対する意欲、自発性、創造力が培われ、そして何より大切な仲間を得ることができると、よく遊ぶこと、そして笑いを交えた一幕もありました。

最後にサミュエル・ウルマンの詩「青春」の一節を読み講演を締めくくられました。

今回の講演は本学園の校訓である「自主性・創造性・社会性」にも通じており、普段、政治に関心であっても日頃の私達の生活には政治が大きく関係し、自主的に関わろうと意識を持つことも必要、そして何より自分たちの生活を豊かにするために他人任せにせず、自らが創造すること、また社会の一員として責任を果たしていくことを改めて思いおこさせてくれた講演でした。

『がんばってます！卒業生』の平成28年第2弾企画として、地元、美濃加茂市役所にお勤めの皆様をご紹介します。第10回生の大杉善洋さんを筆頭に第34回生まで10名の皆さんが活躍をされています。大杉さんの声かけにより10名の皆さんが素早く一斉に一堂に会するところなどは美濃加茂市役所での「チーム美濃加茂」の結束力の強さを窺うことができました。

※皆さんの懐かしい顔写真は卒業アルバムに掲載されているものを利用させていただきました。



■高校時代の思い出
3年生の夏に、目標であった団体戦と個人戦でインターハイに出場し



長尾 陽一郎
昭和62年3月卒業(第12回生)
●ソフトテニス部●

■現役生へエールをお願いします
今は携帯やPCなどが当たり前のようになっていますが、わずらわしくても人と人が顔を会わせて話すことは大変なことだと思います。自分の目で見て、自分の肌で感じたものを大切にしてほしいと思います。

■今一番興味があること
高校時代の2学年上の先輩と懇意にさせていただいて、その先輩がバイク好きだったため、その影響もあり昨年トライク(バイク型の3輪車)を購入しました。時折、その先輩とツーリングに出かけたり、職場のバイク好きの同僚と出かけたりにして楽しんでいます。

■美濃加茂市役所の勤務を目指した理由
大学を卒業する時には特に目指すものはなかったように思いますが、当時はバブルの絶頂期の超売り手市場での就職活動だったので、就職に困ることがなかったのも事実ですが、長男だったということもあり地元での就職を希望していたというのが理由の一つでした。

■高校時代の思い出
当時の美濃加茂高校は創立して10年という若い高校で、先生方も大変個性的な方が多かったと思います。これから伝統を作っていくという時期で、きつと公立高校にはない自由な雰囲気があったのではないかと思います。ここでは具体的には語れませんが、今では考えられないような様々なエピソードがあります。



大杉 善洋
昭和60年3月卒業(第10回生)

たことです。特に団体戦は、ソフトテニス部創部以来初出場ということもあって、大変盛り上がったことを覚えています。また、当時顧問であった水野先生や酒向先生には熱心に指導いただき、今の自分があるのも先生方のお陰だと大変感謝しています。

■今一番興味があること
子どもです。三人の子供たちの成長を見守り、子育てに関わっている時が一番充実しています。

■現役生へエールをお願いします
大変厳しい時代だと思いますが、今という一瞬を大切にしてください。今しかできないこと、勉強だけではなく、部活動や遊びも全力でやることでたくさんの経験をして、人間力を磨いてください。社会人になった時、きつと生きてくると思っています。



梶 田 達 也
平成3年3月卒業(第16回生)
●硬式野球部●

■高校時代の思い出
楽しい楽しい寮生活

■美濃加茂市役所の勤務を目指した理由
誠意を尽くし卓越した知識と技能を身につけ、美濃加茂市から受けた恩恵を還元したいと思ったため。

■今一番興味があること
東京都知事選挙の動向

■現役生へエールをお願いします
・我より古を作す



高井 泉 希
平成17年3月卒業(第30回生)

■高校時代の思い出
毎日の小テストにドキドキしていました。友達と昼休みにお弁当を食べながら、楽しく過ごしたことが思い出

に残っています！

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

自分が生まれ育った美濃加茂市で働きたいと思ったからです！住みよい町ランキンングに入っているように、自然に囲まれた程よい美濃加茂が大好きなので、より良い市にしたいです！

■今一番興味があること

4月に異動したので、新しい部署の仕事早く、たくさん覚えてみなさんのお役に立ちたいです！

■現役生へエールをお願いします

今振り返ると、高校生活はあっという間でした。勉強、部活と悔いのないように頑張ってください。



後藤 大輔
平成17年3月卒業
(第30回生)
● 硬式野球部 ●

■高校時代の思い出

私の一番の思い出は、部活動で3年間野球をひたすら頑張ったことです。その中でも特に思い出に残ったことは、1年生秋の県大会で打席に立ったことです。私としては、3年間で唯一の公式戦出場となった打席ですが、打席に立った理由としてこんなエピソードがありました。それは、秋の県大会のベンチ入りが懸かる練習試合の前夜に、当時監督だった片島監督に「明日僕を使ってくさい！必ず結果を出しますんでお願いします！」と勇気を出して懇願しました。その結果、愛知県の東邦高校との練習試合で代打で出していたので、ヒットを打つことができました。

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

私は、平成27年7月に市役所に転職してきました。それまでは、大学を卒業し、6年間は地元信用金庫で働いていました。その間、結婚と子供が産まれたことがきっかけで、自分の住んでいるまちである美濃加茂市をもう一度見つけ直す機会ができました。そのきっかけが、自分たちが住んでいるまち、未来のこともたちのために力を注ぎたくなることが一番の理由です。

■今一番興味があること

子供の成長です。動作や言葉が徐々にはつきりしてきてこれからいろんなことを覚えていくのが非常に楽しみです。そんな子どもたちが成長していくためには、平和、環境、文化など様々なことに對して、いま私たちがしっかりと働きかけていかなければならないと考えています。

■現役生へエールをお願いします

勇気を出して前に進みましょう！何事も始まりはわからないことが多く不安だったり勇気が持てなかったりと思うと思います。しかし、終わりに近づくにつれて、「あの時にこうしておけば良かった」と後悔が残ることが多いと思います。失敗しても、次また頑張れば認めてくれたり、応援してくれる人がどこかで出てくると思います。



香西 映児
平成19年3月卒業
(第32回生)
● ソフトテニス部 ●

■高校時代の思い出

ソフトテニスで全国大会に出場できたことです。高校2年生のときは、何十年ぶりかともう忘れてしまいましたが、県大会の団体戦で全国大会を決めた後に当時の部員全員で校歌を歌ったことを今でも思い出します。高校3年生のときには個人戦で全国大会出場を果たし、上位入賞はできませんでしたが、2日目に残るという結果を残すことができました。学業もそれなりにですが頑張っていたので、文武両道ができていたと思います。

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

大学卒業後は、民間の企業に3年勤めており、出張で西日本の大都市を訪問することが数多くありましたが、美濃加茂の市町村をみてきました。多くに帰ってくるどこか落ち着くという気持ちが強かったです。大都市にも負けない魅力が美濃加茂にもあり、それを広くPRしたり、何か地域貢献できればという気持ちがあったので、転職を決定し、採用試験を受けてみることにしました。

■今一番興味があること

現在も、クラブの指導者としてソフトテニスは続けており、中学生を指導しています。その中からすでに中学校を卒業し、何名かは美濃加茂高校のソフトテニス部として全国大会を目指している子たちがいます。その子たちが県大会で活躍したことを聞くことが私の中で非常に楽しみになっています。厚かましい先輩ですが、何かがなればとも感じています。

■現役生へエールをお願いします

私自身が学生時代何をしていたかと聞かれて、他が思い浮かばないくらい部活動に熱中していました。私が中学生時代にソフトテニスを指導いただいた方の「学業でもスポーツでもなんでもいいから一番を目指せ」という言葉は今でも忘れません。1番になることというのはどんなことでも難しいことだと思います。どのジャンルでもいいので何か1番になることを真剣に取り組んでみてください。



山田 光保
平成21年3月卒業
(第34回生)

■高校時代の思い出

- ・卒業旅行（中国）
- ・受験勉強
- ・夏期講習、冬期講習
- ・0限テスト
- ・自転車での通学
- ・文化祭、体育祭
- ・雪害コースとの合同体育
- ・体操

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

中学、高校と通いながれた美濃加茂の街で、地域の方々と一緒に頑張って仕事をし、美濃加茂市を盛り上げていきたいと感じたから、学生時代から、外国人の多い街のイメージが強く、外国人の多い街ってどんな街だろうと、疑問に思っただけから。

■今一番興味があること

・美濃加茂市に通う学生との触れ合いや、学生の考えていることなど。
・これからの美濃加茂中学、高校進学率

■現役生へエールをお願いします

美濃加茂高校での出会いが一生ものです。現在は、恩師と仕事をしたり、同級生と一緒に仕事をしたりと、当時の出会いが今でもなお続いています。今ある出会いが大切で、そして自分のやりたいこと、やってみたいことはどんどん挑戦してみてください。そこにもまた新たな出会いがあると思います。様々な人とのつながりを大切に、広い視野で物事を考えてみる、人生豊かになると思えますよ。これからの学生生活も、そしてその先も、出会いを大切に頑張ってください。



山田 祐介
平成21年3月卒業
(第34回生)

■高校時代の思い出

・学校の公式部活ではありませんが、MT夢クラブのボウリングクラブに所属し、秋田県に出場したことが、早弁して、お昼の休み時間に単語帳を開いたこと。

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

地元で仕事したいと思ひ、美濃加茂市役所を受けました。

■今一番興味があること

サイクリング
■現役生へエールをお願いします
いっぱい食べて、遊んで、勉強して学生生活を楽しんでください。



金森 健
平成21年3月卒業
(第34回生)
● バレーボール部 ●

■高校時代の思い出

思い出というか一番印象に残っていることは、やはり大学受験です。前期試験の合格発表が3月中旬で、その後の後期試験も残っていたので、3月上旬の卒業式の日には、楽しむ余裕がなく、クラスも異様な雰囲気だった記憶があります。無事に大学に合

格し、春休みに職員室に報告しに行つたとき、お世話になった先生方からたくさん「おめでとう」をいただいたことがとてもうれしく、努力が報われた瞬間でした。また、クラスの仲間たちで3月下旬に改めて卒業パーティーを開催したのもとても印象深いです。思い返せば、団結したいいクラスで過ごせた3年間でした。3年間担任だった山森先生のおかげだと思います。

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

私は大学で情報工学を専攻していましたが、研究内容等があまり好きではなかった。仕事は営業職や事務職に就きたいと考えていました。そこで、様々な企業や官公庁の職場説明会に参加して見たところ、美濃加茂市役所の職場説明会が唯一楽しかった。そこで仕事をしてみたいなと思ったからです。また、市役所は多方面から市民の生活をサポートする役目があるため、仕事は多岐にわたります。様々な種類の仕事ができるので、飽き性の自分には合っていると思ったのも市役所で働きたい理由の一つでした。

■今一番興味があること

興味というよりは夢ですが、既に結婚し、アパートで暮らしているの、早く一軒家を建てて柴犬を飼うことです。家が建ったら、柴犬と遊ぶようなウッドデッキを自作しようと考えています。こどもはまだいませんが、将来こどもと柴犬が遊んでいる様子を想像するだけでたまらないです。

■現役生へエールをお願いします

勉強や部活など、何事にも「まず自分で考える」姿勢で取り組んでください。部活を熱心に取り組んでいる人は、「どうしたらもっとうまくなるだろう」「なんでアイツはうまいんだろ」と考え、試行錯誤していることと思います。こういった、「自分で考え、行動する」ことができることが、社会に出た時に必要な能力の一つです。そして、試行錯誤してもダメな時、考えても思い浮かばない時などは、周りの先生方や友達に聞いてみましょう。他人の視点からの話を聞き、気づかなかったことに気づくことはよくあります。多方面から考える力をつけてください。ただし、考えすぎで行動できないのもよくありません。挑戦し、失



山田 優作
平成21年3月卒業
(第34回生)
● 硬式野球部 ●

■高校時代の思い出

高校時代を思い出すと部活動のことしか記憶にありません。もちろん学校生活も充実していましたが、野球部は部活動のときはもちろんのこと学校生活も非常に厳しく指導して頂いた覚えがあります。その環境のおかげで基本的な礼儀やマナー等を学ぶことができ、又大切な仲間とも出会うことができたことに感謝しています。

■美濃加茂市役所での勤務を目指した理由

私は生まれてからずっと美濃加茂で暮らしてきました。その中で地域の方たちには様々な面で支えられてきました。これから美濃加茂で育っていく子供たちに何か貢献したいと思ひ希望しました。

■今一番興味があること

美濃加茂高校野球部の夏の大会
■現役生へエールをお願いします
やりたいこと、好きなことを全力でやってください!!



進学実績

※記載内容

氏 名
出身中学
その他の合格校

平成26年度 国公立48名!
(国公立短大2名含む)

名古屋5名 岐阜9名 同志社8名 立命館11名 南山24名
慶應義塾2名

2年連続 京都大学合格!



名古屋大学
山田 景子さん
美濃加茂中
東京理科・同志社
関西学院



名古屋大学
関口 晴実さん
小泉中
関西学院・同志社
近畿



京都大学
松本 一樹くん
美濃加茂中



名古屋大学
片岡 優斗くん
美濃加茂中
法政



名古屋大学
福井 理帆さん
神測中
南山・関西・名城



名古屋大学
宮崎加奈子さん
南姫中
明治・早稲田・南山
関西・同志社・立命館



名古屋工業大学
齋藤 孝徳くん
下呂中
東京理科・立命館
名城



岐阜薬科大学
重森明香利さん
美濃加茂中
南山



千葉大学
渡辺 蓮くん
美濃加茂中
同志社・青山学院
立命館・南山



神戸市外国語大学
工藤 真子さん
共和中
南山・関西学院
同志社



岐阜大学
合格者
秋田 哲志くん
向陽中



岐阜大学
後藤 圭亮くん
美濃加茂中



岐阜大学
竹林 雅貴くん
美濃加茂中



岐阜大学
柘植 滉くん
美濃加茂中



岐阜大学
今井 淳司くん
萩原北中



岐阜大学
中島 和也くん
金山中



岐阜大学
光田 篤司くん
西中



岐阜大学
橋口万里奈さん
美濃加茂中

平成27年度 国公立51名!

岐阜医学部医学科1名 大阪1名 名古屋8名
九州1名 岐阜11名 名古屋工業3名 ほか
慶應義塾1名 早稲田1名 青山学院5名
同志社15名 立命館22名 南山45名

現役 医学部医学科合格!!



岐阜大学
医学部医学科
田口 京華さん
美濃加茂中
慶應・東京理科・立教・立命館



大阪大学
安田 晶くん
西中
上智・明治・同志社



名古屋大学
岩瀬希弥也くん
郡上東中
青山学院・法政
立命館・同志社



名古屋大学
日比野真実さん
美濃加茂中
南山・関西学院



名古屋大学
山本 涼子さん
美濃加茂中
中央・同志社
立命館・南山



名古屋大学
川尻 圭祐くん
郡上東中
法政・同志社
関西・関西学院



名古屋大学
河村 理くん
美濃加茂中
青山学院・南山
立命館・同志社



名古屋大学
林 宏太佳くん
美濃加茂中
南山・立命館
同志社



名古屋大学
井戸 太一くん
白川中
早稲田・中央
青山学院・同志社



名古屋大学
古井 雅人くん
八百津中
法政・明治
同志社・南山



九州大学
黒柳 遥風くん
関・桜ヶ丘中
中央・立命館
法政・関西学院



岐阜大学
合格者
飯田 峰敏くん
八百津中



岐阜大学
遠藤 睦巳くん
緑ヶ丘中



岐阜大学
岡田 祐也くん
東中



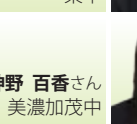
岐阜大学
佐伯 洋太くん
上麻生中



岐阜大学
佐藤 丞くん
美濃加茂中



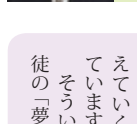
岐阜大学
霜田 幸長くん
美濃加茂中



岐阜大学
神野 百香さん
美濃加茂中



岐阜大学
櫻井かのこさん
美濃加茂中



岐阜大学
長谷 萌里さん
美濃加茂中

過去5年間の主な合格大学
(4年制大学)

大学名	H23	H24	H25	H26	H27
国公立大学					
北見工業大学				3	
北海道大学			2		
東北大学	1				
千葉大学				1	2
福島大学			1		
東京大学			1		
東京外国語大学			1		
横浜国立大学	1				
新潟大学				1	
沢山大学				2	1
富山大学					
福井大学			1		
岐阜大学	11	9	14	9	12
静岡大学	1	1	1		1
愛知教育大学	2	1	1		
名古屋大学	5	2	3	5	8
名古屋工業大学				1	3
三重大学					1
滋賀大学	1			1	1
京都大学				1	
大阪大学	1		2		1
神戸大学	1				
広島大学	1				
岡山大学			1		
香川大学			1		
九州大学					1
鹿屋体育大学	1				
防衛医科大学校			1		1
航空保安大学校					1
釧路公立大学			1	4	2
青森公立大学			1		
高崎経済大学			3	1	
首都大学東京	1		2		
敦賀市立看護大学			1		
富山県立大学				1	1
福井県立大学		2	7	5	1
都留文科大学			2		2
岐阜薬科大学		1	2	1	
岐阜県立看護大学					1
静岡県立大学			1		
静岡文化芸術大学					1
愛知県立芸術大学			1		
愛知県立大学	1		3		
名古屋市長立大学			1		2
その他の国公立大学	13	17	4	9	7
国公立大学合計	39	35	60	46	51

私立大学	H23	H24	H25	H26	H27
青山学院大学	4	1	1	3	5
慶應義塾大学	2		5	2	1
上智大学		2	2		
中央大学	10	7	2	2	6
法政大学	5	2	4	1	13
明治大学	8	2	4	1	7
立教大学	5	2	2		2
早稲田大学	1	4	6	1	1
南山大学	36	18	45	24	45
同志社大学	7	4	15	8	15
立命館大学	21	17	31	11	22
関西大学	4	3	4	10	6
関西学院大学	9		2	5	7
その他の私立大学	240	256	244	271	257
私立大学合計	352	318	367	339	388

感謝の気持ちを力に!

教頭・進路指導部長 船戸 宙治

美濃加茂高校が創立して44年目を迎えました。進路指導部としては、「継続と前進」のスローガンのもと生徒たちの進路(夢)を叶えるべく、試行錯誤を重ねながら一歩一歩前進してきました。その結果、昨年度は国公立大学の合格者が51名を数え、平成25年度の60名に次ぐ立派な成果を挙げることができました。また、私立大学においても早稲田大学・慶應義塾大学・同志社大学・立命館大学・南山大学など難関とされる有名私立大学にも数多く合格することができました。

この実績は生徒自身の努力と学校全体の教育活動が結びついた賜物であると言えるでしょう。その中でも特筆すべきは、名古屋大学の8名と岐阜大学医学部医学科1名が現役で合格したことです。また、九州大学においては初の合格者を出し、大阪大学を含めた旧帝大10名合格がすべて現役というのは美濃加茂高校はかつての快挙であり、かつ、残りの合格者もすべて現役で合格しており、3年間で実力をつけさせて志望校に送り出す、という本校の特色をしっかりと打ち出したのではないかと考えています。

アドバンスコースにおいても推薦入試による国公立大学合格を目指すプロジェクトを立ち上げて3年が経ちました。昨年度は国公立大学を16名が受験し、千葉大学と名古屋立大学に合格するなど少しずつですが着実に前進しています。

一方で今日、進路を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。進路指導は単なる「出口指導」ではなく、将来の職業選択を見据え様々な体験やガイダンスを通して自己の適性を考えさせるキャリア教育を充実させる必要がある、ということを感じています。また、高大接続改革の一環として2020年度から始まる新しい大学入試制度に対応するため、基礎学力の養成と定着が喫緊の課題となつていきます。

この厳しい状況を念頭に、美濃加茂高校が更に次の一歩を踏み出していくためには我々教員のスキルアップは急務となつていくことが、生徒が友人や家族、先生方のサポートがあつてこそ頑張れることを自覚し、「感謝の気持ちを力に」変えていくことが最も大切なことであると信じています。そういつた「心」の教育も大切にしながら生徒の「夢」実現にまい進したいと考えています。

部活動戦績 — 全国大会出場部活動

平成26年度

<高校>

陸上競技部

全国高等学校総合体育大会	堀江勇輝	棒高跳	出場
	石原里紗	走高跳	出場
	奥村拓実	八種競技	出場
国民体育大会	堀江勇輝	棒高跳	出場
日本ジュニア陸上競技選手権大会	堀江勇輝	棒高跳	3位
	石原里紗	走高跳	8位
全国高等学校陸上競技選抜大会	奥村拓実	八種競技	出場
日本ジュニア室内陸上競技大阪大会	堀江勇輝	棒高跳	出場
	石原里紗	走高跳	出場
	坂井遼志朗	60mH	出場

女子バレーボール部

全国私立学校バレーボール選手権大会		出場
-------------------	--	----

ボート部

全国高等学校総合体育大会	板津雅彦	出場
国民体育大会	男子クオドルブル	8位

ゴルフ部

全日本女子パブリックアマチュア選手権	浅井菜帆	出場
--------------------	------	----

ブラスバンド部

マーチングバンド・カラーガード全国大会		銅賞
---------------------	--	----

バトントワリング部

バトントワリング全国大会		銀賞
--------------	--	----

書道部

岐阜女子大学全国書道展	大学賞	1名
	特賞	3名

<中学>

ゴルフ部

全国中学生ゴルフ選手権大会	黒田智之	出場
---------------	------	----

平成27年度

<高校>

男子バスケットボール部

全国高等学校選抜バスケットボール大会		2回戦
--------------------	--	-----

陸上競技部

全国高等学校総合体育大会	井戸田魁	走高跳	出場
	奥村拓実	八種競技	出場
全国高等学校陸上競技選抜大会	奥村拓実	八種競技	7位
日本ジュニア室内陸上競技大阪大会	安達萌乃	60mH	出場
日本ユース陸上競技選手権大会	安達萌乃	100mH	出場

ボート部

全国高等学校総合体育大会	男子ダブルスカル	出場
国民体育大会	男子舵手付きクオドルブル	7位
	男子ダブルスカル	7位
全国選抜大会	男子舵手付きクオドルブル	出場

柔道部

全国高等学校柔道選手権大会	渡辺世奈	57kg級	ベスト16
---------------	------	-------	-------

男子ソフトボール部

全国高等学校総合体育大会		出場
全国私学男子ソフトボール大会		ベスト16

ブラスバンド部

マーチングバンド全国大会		銀賞
--------------	--	----

書道部

岐阜女子大学全国書道展	特賞	3名
-------------	----	----

<中学>

ゴルフ部

日本ジュニアゴルフ選手権大会	黒田智之	出場
----------------	------	----

全国中学校ゴルフ選手権春季大会	黒田智之	出場
-----------------	------	----

柔道部

全国中学校柔道大会	岸 夏希	出場
-----------	------	----

女子部活動の躍進！

美濃加茂の歴史を語る上で、各部活動の輝かしい成績は欠かせません。ここでは、特にここ最近活躍が目覚ましい女子バレーボール部と女子バスケットボール部を特集します。

女子バレーボール部は今年の岐阜県新人大会で初の準優勝を果たし、続く岐阜県高校総体でも同じく準優勝。共に東海大会への出場を果たしました。頭脳派監督の川瀬悟士先生が指揮をとります。

女子バスケットボール部はWingsと命名し、強化を始めて3年目。その1番の目玉は同窓生教員である河野裕介先生の監督就任でした。今年の岐阜県新人大会では県6位、岐阜県高校総体でもベスト8と着実に力を付けてきています。

川瀬・河野両先生に以下の3点についてお話を聞いておりますのでご覧ください。

1. 部訓やモットー、約束事など

川瀬:「心をひとつに」を合言葉に、マネージャーも含む選手全員が同じ目標、同じ意識になることを心がけています。また、挑戦することでバレーボールの本当の面白さが生まれ、その面白さが自己を成長させ、それらがチームの勝利へと繋がることを選手全員が理解し、日々練習に励んでいます。

河野:選手たちは「個人の努力や良い姿勢はチームのため、チームの努力や良い姿勢はひとりひとりのために」と考えているようです。言葉では「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」を大切に、コート上や学校生活、家庭でのすべての努力や取り組む姿勢がバスケットへ繋がり、それは自分のためでもありチームのためでもあるという考えを学びながら生活しています。



▲選手を指導する川瀬監督

2. 監督として常に意識していること

川瀬:技術面の向上はもちろんですが、大舞台や大事な場面で実力を発揮するには「心の強さ・逞しさ」が必要です。強さや逞しさを身につけるには、厳しい練習を乗り越えるだけでは不十分であり、練習時間外での行動にも目を向け、目上の方々に対する挨拶や、週3日実施している校舎回りや校舎内トイレの清掃を通じて、支えてくれる方や応援してくれる方、また、部活動を含めた学校生活を送ることができる今の環境に対する感謝の心を養っています。まだまだ未熟ではありますが、「本校の顔」となれる選手の育成を目指しています。

河野:「誰にでもできる当たり前な練習を誰にもできないほど練習する」という言葉を意識して練習しています。練習は特別なことをしているわけではないので、ひたすら身体が覚えるまで繰り返し練習をすることに取り組んでいます。また、女子バスケット部だから学校生活などを努力しているという考

えではなく、人として学校生活や私生活の姿勢が良から、コート上で良い表現や努力ができるという考えを選手に大切にさせています。

3. これからの部の展望

川瀬:県内の大会で2大会連続の準優勝という結果は輝かしいものがありますが、強豪校はまだ大勢あります。県1位を目指すことはもちろんですが、常に上位4チームには位置できるチームを維持していきたいと考えています。

河野:女子部の強化を始めて3年目。技術面も精神面も教わっていることを常に意識し、選手たちがコート上や学校生活、私生活と素晴らしい表現をしてくれているおかげで、県6位まで登ってきました。今後は県ベスト4を狙い、東海・全国を目標に日々努力していきます。



ピックアップ!!

女子バレーボール部「思い出深い1試合」

今年1月末、岐阜県新人大会初日でベスト4をかけた益田清風高校戦。川瀬監督就任以来、益田清風高校には一度も勝利することがなかった。試合は白熱の展開を見せる。1セット目24-23で先にセットポイントをとってからシーソーゲームとなり、26-25、27-26でサーブミスという危機的状況や、27-28で相手にセットポイントをとられる状況から巻き返し、31-29で見事1セット目を取る。2セット目は勝利への焦りからミスが連続し、18-25で取られて挑んだ3セット目。24-21でマッチポイントという場面。相手からのフェイントでリズムを乱し24-22。必死につながぐ二段トスのミスから失点し24-23。心の折れそうな場面だったが、次の相手のサーブを丁寧にレシーブし、ミドルブロッカーのAクイックで25-23となり勝利を飾った。試合展開はもちろんだが、「選手たちが自発的に声を絶やさず出し、仲間を、勝利を信じて諦めないプレー」ができるようになったすばらしい1試合だ。

女子バスケットボール部

「同窓生監督：河野裕介」



平成14年美濃加茂高校両立コース卒業。高校時代はバスケットボール部キャプテンとして活躍した。卒業後は中京大学に進学。平成18年から本校職員（体育科教員）として勤める。1年目から男子バスケットボール部の顧問になり、恩師である林龍幸先生の下で8年間修業を積み。満を持して平成26年4月より女子バスケットボール部の監督に就任。就任と同時にWingsの愛称を掲げ、強化に着手。好きな言葉は「凡事徹底」。



美濃加茂中学 三 大 行 事

美濃加茂中学校も開校以来16年を迎えました。入学生徒総数は、平成28年度新入生を含めて771名となり、卒業生も各方面で活躍しています。美濃加茂中学校では、高等学校と共通の建学の精神に則り「学業」のみならず「部活動」「日常生活」を通して挨拶や礼儀作法など人間としての大切なことを指導しています。その一環として、今回は美濃加茂中学校の三大大行事を紹介します。1年生は乗鞍研修（2泊3日）、2年生はスキー研修（2泊3日）、3年生は中学校の集大成の行事、オーストラリア研修（8泊11日）があります。様々な研修を通して生徒たちは美濃加茂中学生としての自覚と誇りを持って高校部へと進学していきます。

【1年生乗鞍研修】



【2年生スキー研修】



【3年生AU研修】



編集後記

平成27年の秋、野球部がセンバツ高校野球の21世紀枠岐阜県推薦校に選出されました。また、平成28年度春季東海大会に24年ぶり（前回は馬淵隆雄投手 現同朋大学硬式野球部監督 美濃加茂高等学校（平成5年卒業）→同朋大学→西武ライオンズ を擁し出場）に出場しました。

先般開催された山田拓郎犬山市長（平成3年卒）の講演会には、山田市長の親友ということで矢幡真也さん（旧姓寺沢）（平成3年卒 現愛知県警高等学校硬式野球部監督 平成2年夏の甲子園出場時のピッチャー背番号1番）が駆けつけ、また美濃加茂市役所勤務の卒業生では梶田達也さん（平成3年卒 平成2年夏の甲子園出場時のキャッチャー背番号2）を紹介させていただきました。また開校より40数年間学校発展に寄与された長田聖前事務局長（野球部過去2回の甲子園出場に尽力）が平成28年3月末で退職をされました。

平成27年から28年にかけて野球部にとても縁のある年となりました。野球部だけでなく、柔道部が中学校生徒、高等学校生徒ともにアベックで全国大会に出場したり、女子バレーボール部が全国大会に出場したりと、例年全国大会で活躍する男子バスケットボール部、陸上部、プラスバンド部に続けとばかりに目覚ましい活躍が目立ちます。東京大学現役合格や、旧帝国大学全制覇、国公立大学全員現役合格など、前々号、前号、今回の同窓会報では進学関係を大きく取り上げましたが、「美濃加茂＝文武両道」という一面も皆様にご紹介したいというのが本音です。（平成5年卒 加納良祐）

入試情報

中 学 部

プレテスト：12月3日（土） 国・算・社・理

I 期 入 試：1月7日（土）

4教科型テスト：国・算・社・理・面接

2教科型テスト：国・算・面接

II 期 入 試：2月18日（土） 国・算・面接

高 校 部

推 薦 入 試：2月4日（土） 国・数・英・面接

一 般 入 試：2月5日（日） 国・数・英・理・社